

平成22年度
「嵐山国有林の取扱に関する意見交換会」
第2回会合

日時：平成23年 2月25日(金) 10:30～

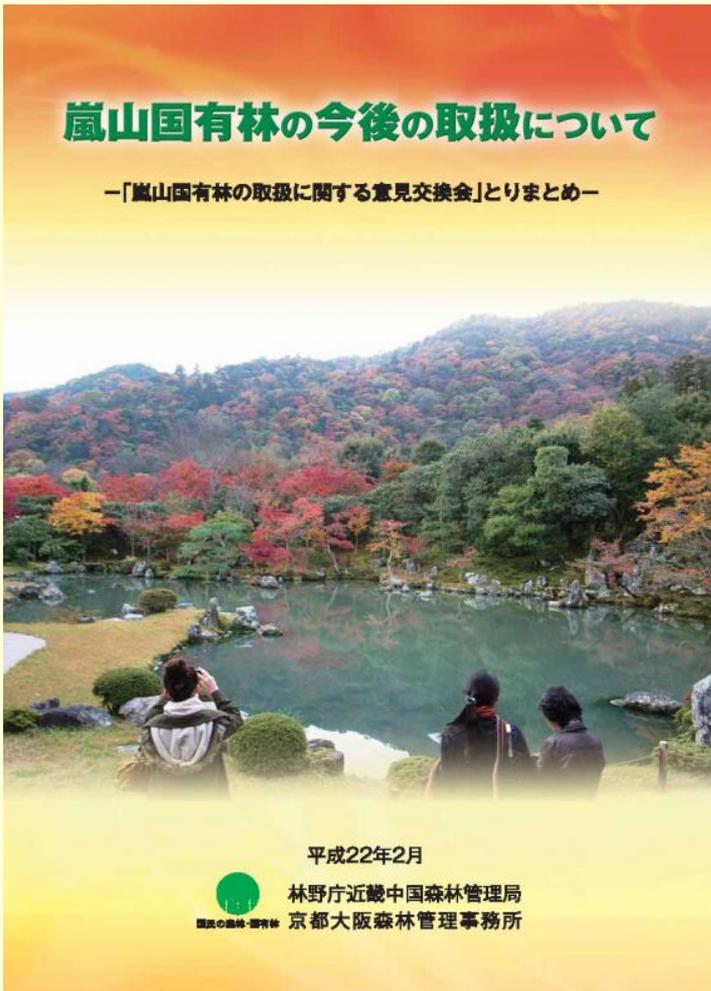
場所：大本山 天龍寺「友雲庵」

近畿中国森林管理局 京都大阪森林管理事務所

京都大阪森林管理事務所からの報告

嵐山国有林の今後の取扱いについて

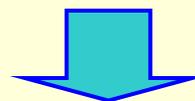
—「嵐山国有林の取扱いに関する意見交換会」とりまとめ—



「嵐山国有林の今後の取扱い方針」

(5) その他

- ・(中略)2月の会合では、京都大阪森林管理事務所より、当年度の事業実施結果の説明を行うとともに、次年度の事業実施箇所の検討を行う。



・平成22年度事業の実施状況

(「平成22年度 嵐山山腹工事」の事業経過報告)

・平成23年度事業の計画について

(平成23年度事業の検討内容について報告)

平成22年度事業の実施状況

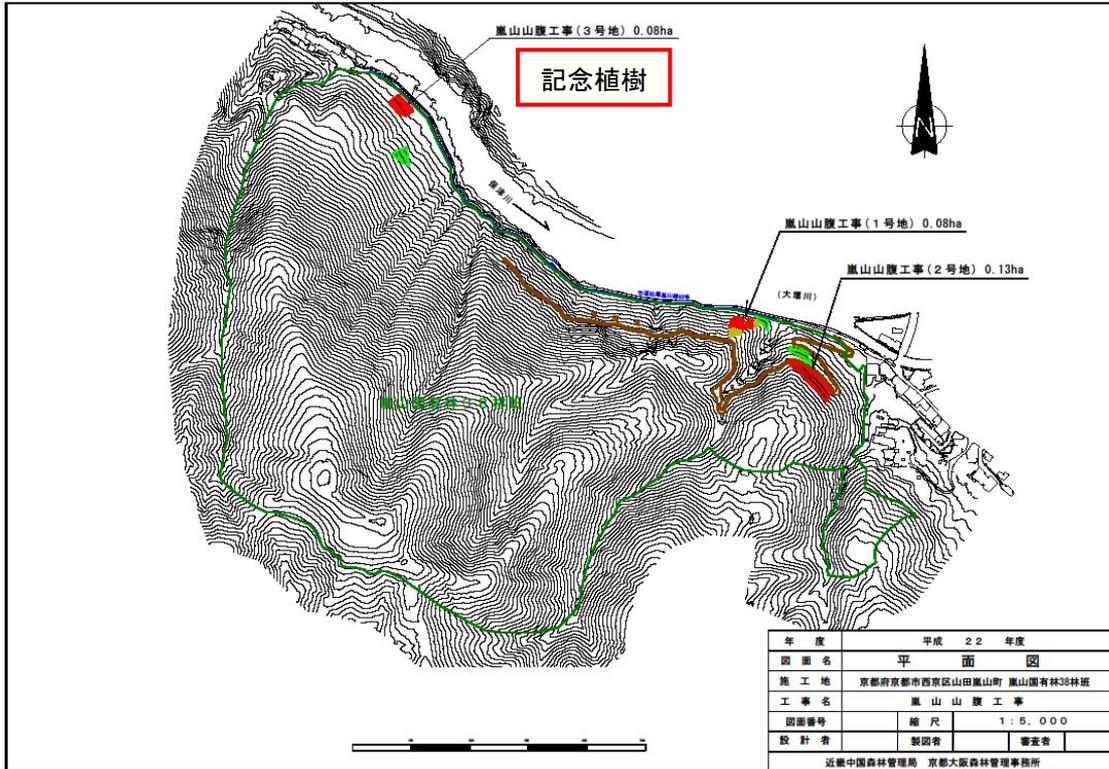
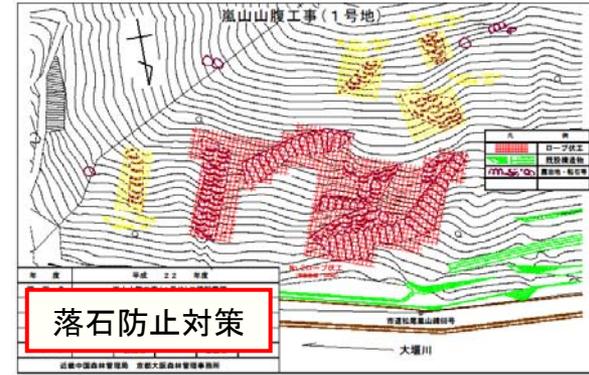
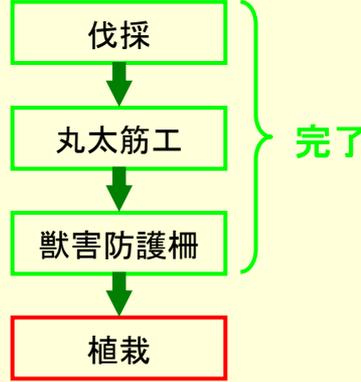
平成22年度 嵐山山腹工事

数量：山腹工 3箇所 0.29ha

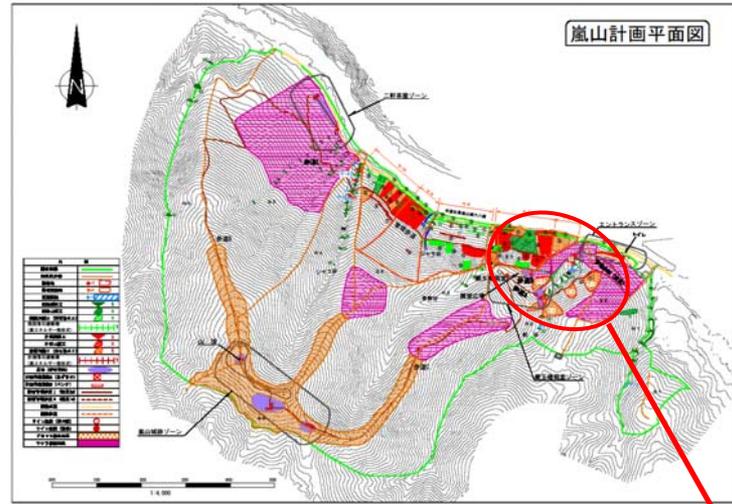
請負金額：¥22,890,000.-

請負業者：株式会社 野村造園土木(右京区)

工事期間：平成23年1月22日～平成23年3月25日

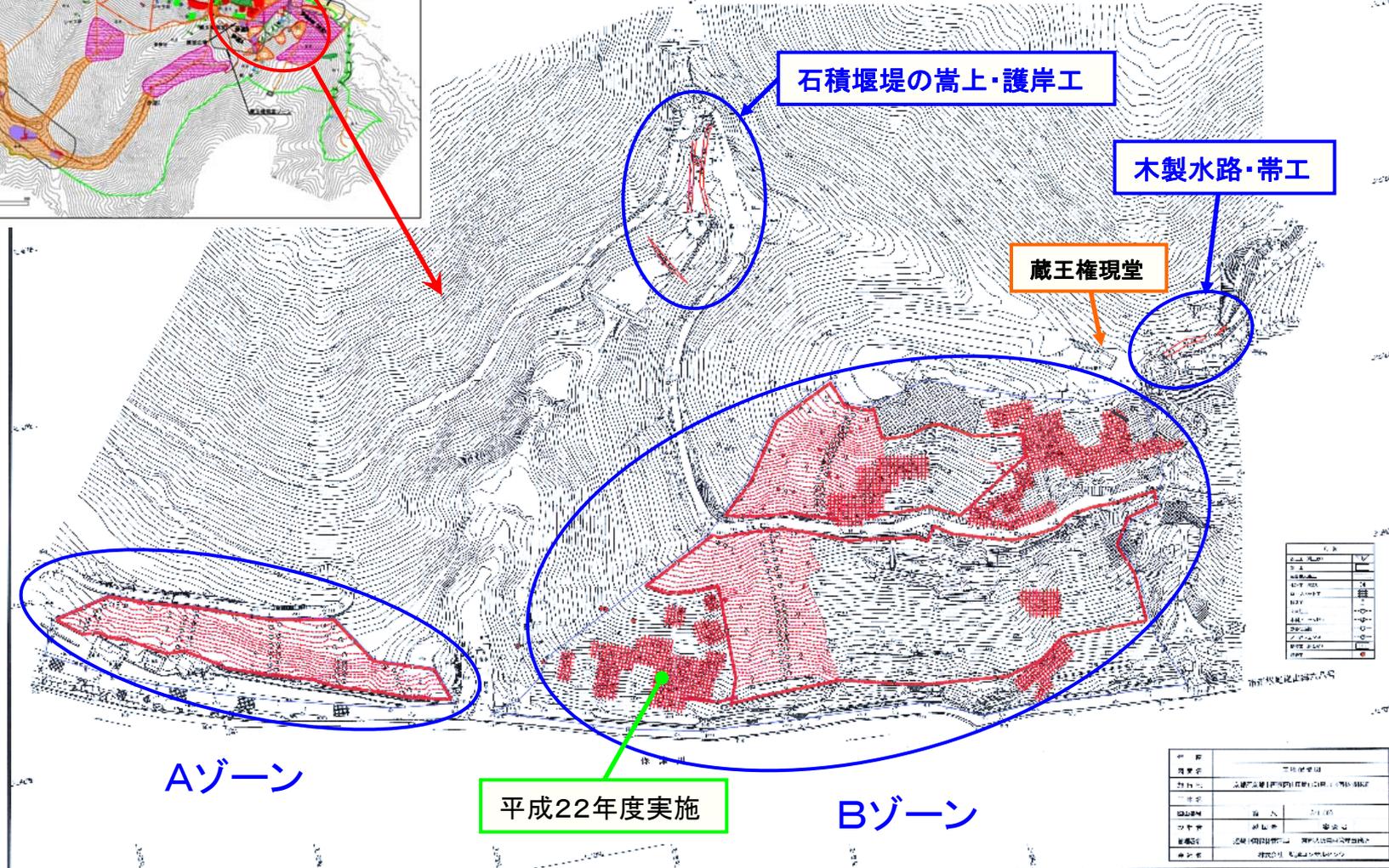


・平成23年度事業の計画について(1)



事業を発注するための具体的な調査測量を実施

(平成22年11月に完成)

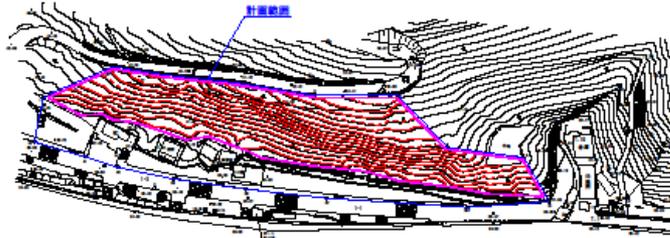


平成23年度事業の計画について(2)

<整備方針>

- ①山腹斜面勾配は45°の極急斜面であるが安定している。現地調査により崩壊箇所は見られないので、山腹基礎工は計画しない。
- ②管理道より頭部に落石の恐れがある転石や浮石等は見られないので、表面侵食の防止と植生導入を図るために、筋工を計画する。
- ③獣害による植生への被害を防ぐために、獣害防護柵を設置する。

平面位置図
D1/100



凡 例	
丸太筋工	—
木製ブロック筋工 (2段構)	- - -
獣害防護柵	- - -

現況写真



既設塊石防護柵 (H=1.0m) 状況



現況斜面状況(1)



現況斜面状況(2)

Aゾーン

計画イメージ

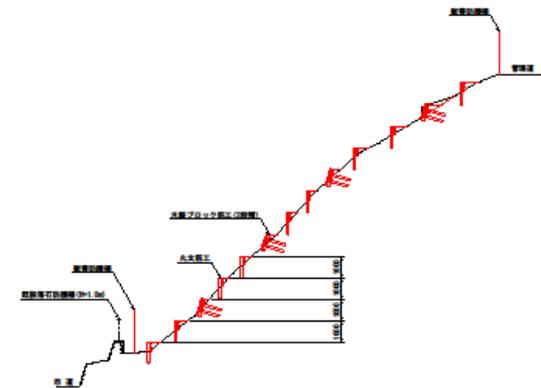
山腹緑化工



獣害防護柵



計画断面図
D1/200



平成23年度事業の計画について(3)

<整備方針>

- ①山腹斜面勾配は $40^{\circ} \sim 45^{\circ}$ の極急斜面であるが安定している。現地調査により崩壊箇所は見られないので、山腹基礎工は計画しない。
- ②落石の恐れがある転石・露岩箇所は、対策工の比較によりロープネット工を計画し、落石の発生源対策を行う。
- ③落石の恐れがある巨石が存在する箇所は、対策工の比較により小割工とし、落石の発生源対策を行う。作業箇所が市道に近いので、騒音をなるべく抑えるように静的破壊工法を採用する。
- ④表面侵食の防止と植生導入を図るために筋工を計画する。周囲の小さな転石や小割にした石等を筋工の背面に入れ抑えることにより、斜面の安定を図り小さな石の落石を防止する。
- ⑤万が一小さな石が落石した場合を想定し、落石防護柵を設置する。
- ⑥獣害による植生への被害を防ぐために、獣害防護柵を設置する。

Bゾーン

現況写真



写真④



写真⑤



写真⑥



写真⑦



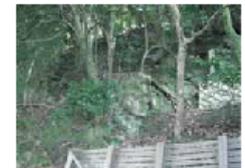
写真⑧



写真⑨



写真⑩



写真⑪



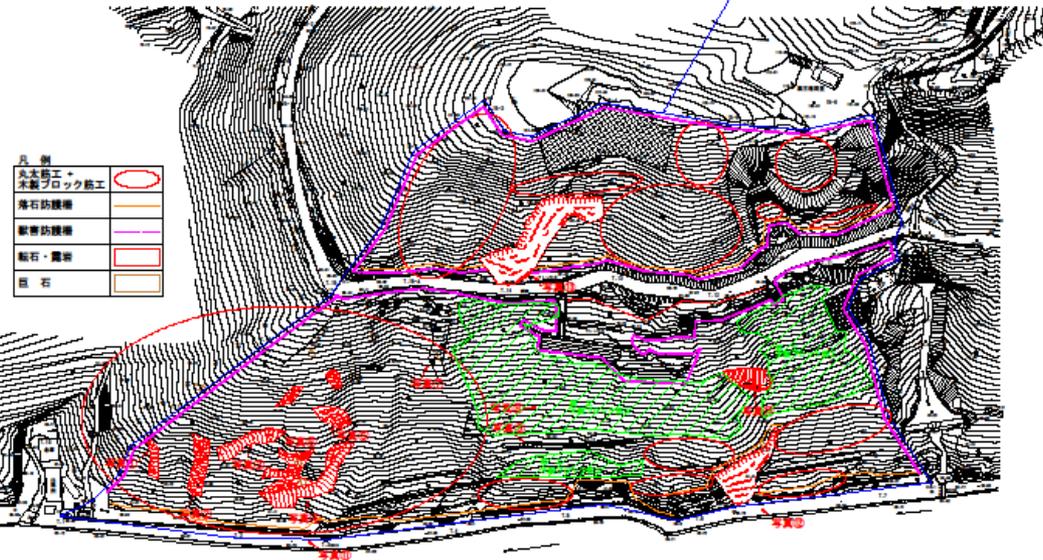
写真⑫



写真⑬

平面位置図
S1:1000

計画範囲



凡 例	
木割工・木割ブロック筋工	
落石防護柵	
獣害防護柵	
転石・露岩	
巨 石	

保 津 峡

現況写真



写真⑭



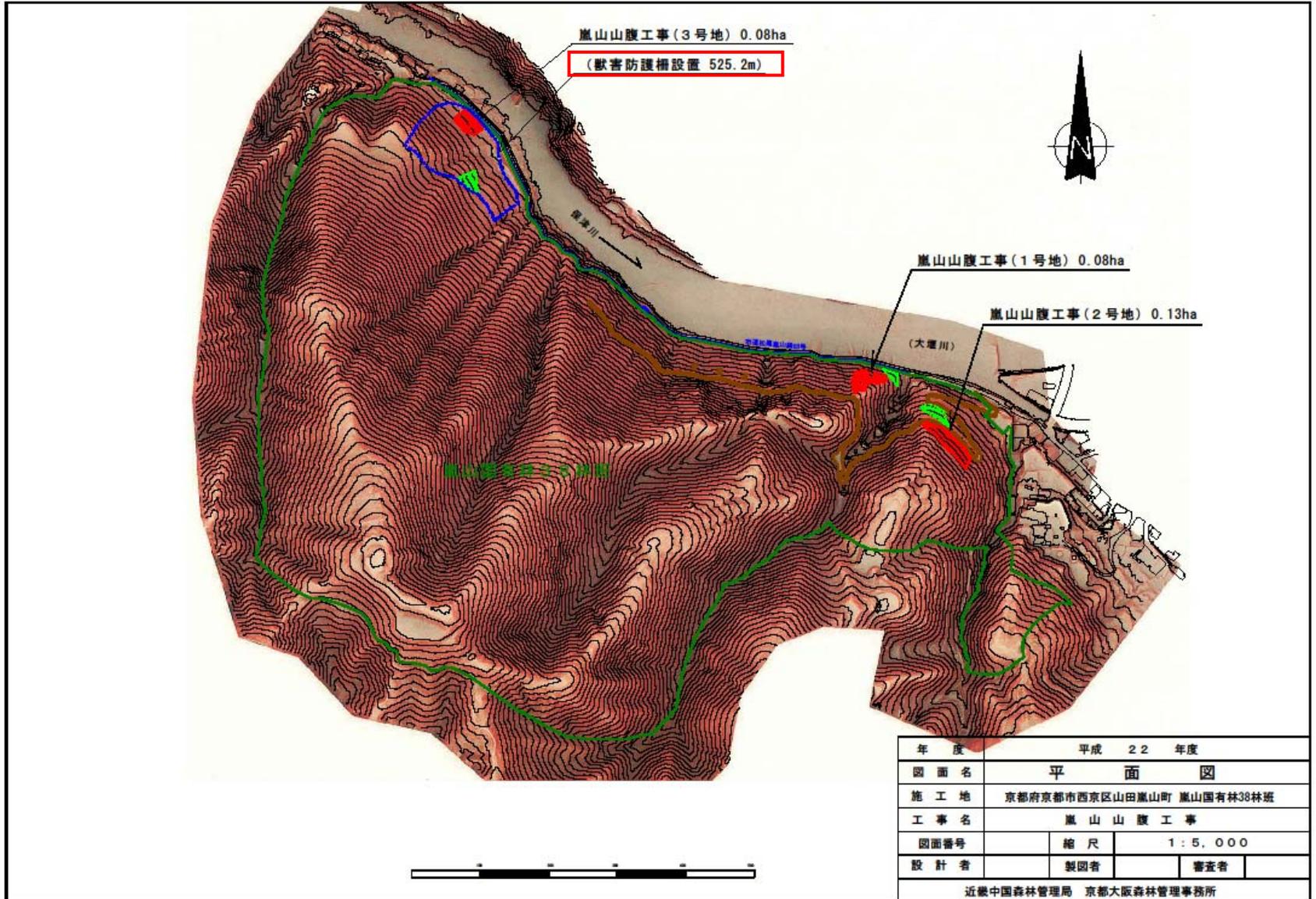
写真⑮



写真⑯

平成23年度事業の計画について(4)

※平成22年度事業で計画したが、予算事情により見送り。



・平成23年度事業の計画について(5)

平成23年度事業(案)

(基本事項)

- ・「調査測量が完了した箇所」や「平成22年度見送り箇所」の中から優先度、要望等により選択して実施する。
- ・上記以外の箇所についても、現地状況を見ながら、実施を検討する。
- ・付帯施設整備(サイン施設・歩道・作業施設)については、作業部会等の醸成状況や利用状況等を考慮しながら実施を検討する。



- ・予算の執行状況等を考慮して、京都大阪森林管理事務所において決定する。



- ・決定した事業内容を平成23年度「嵐山国有林の取扱に関する意見交換会」第1回会合(9月予定)において説明し、意見交換に諮る。



平成23年度事業の実施(平成23年秋以降)